

KANSAI GAIDAI UNIVERSITY

日本映画人権関連小一覽

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 関西外国語大学 公開日: 2016-09-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 加藤, 昌彦 メールアドレス: 所属: 関西外国語大学人権教育思想研究所 |
| URL | https://kansai.gaidai.repo.nii.ac.jp/records/5757 |

[資料]

日本映画人権関連小一覽

この小一覽は、先に本誌の第2号（1999年）に掲載させていただいた「外国人権映画小一覽」の姉妹編です。日本映画から人権問題を抽出することは至難のことです。どの作品にもいろいろな意味で人権問題に関連しています。

今回は『ぴあシネマクラブ 日本映画篇2003-2004』を基礎に、その他の本や新聞から、また私が授業で担当させていただいている「人権問題論」の受講生が、そのレポートに選んだ映画の感想を参考にしました。またいろんな方々からご教示頂きました。その中から、人権問題を真正面から扱ったものや、それに準じたもの、ビデオ・DVD化されているものを中心に広く選びました。

もちろん、これらの全部の映画を私は見えていません。参考になる作品として選びました。私案に次の方々に見ていただきました。（50音順）映画をよく見ておられる関西大学社会学部教授の石元清英さん、本学講師で1990年からキネマ旬報ベストテン選考委員、毎日映画コンクール1次選考委員の奥田均さん、大阪国際大学の講師の金洪仙さん、ヤイユーカーラの森・運営委員長の計良光範さん、朝日新聞で映画記者もされたことがあり、のち近畿大学教授となられた田結莊哲治さん、映画が大好きな元福岡県同和教育研究協議会会長で九州産業大学教授の林力先生、本学の図書館に勤務され映画で単著もある藤津滋生さんです。御多忙の中、快く応えて頂き、たくさんのご教示をいただきました。記して心より深く感謝申しあげます。

この一覽には、たくさん抜けている作品、また誤りがあると思います。ご指摘いただければ、とても有り難いです。今後、充実してまいりたいと思います。なおこの小一覽作成にあたって、本学卒業生の野口彩さんに、私が選択したものをインプットする仕事をしていただきました。記して感謝します。

（加藤昌彦）

日本映画人権関連小一覽

1. 子ども

| 作品名 | 製作年 | 製作会社・組織 | 監督 | あらすじ |
|----------------------|------|-------------------|-------|--|
| 父ありき | 1942 | 松竹 | 小津安二郎 | 一人で息子を育ててきた元教師。父を尊敬して大きくなっていく息子との交流。 |
| 絵を描く 子どもたち | 1956 | 日活 | 羽仁 進 | 不思議な紫の花の絵を描く生徒を90日間追った記録映画。 |
| はだかっ子 | 1961 | ニュー東映 | 田坂具隆 | 母と暮らす少年の生活。 |
| 不良少年 | 1961 | 岩波 | 羽仁 進 | 支配を嫌う少年が少年院に入っ て…。 |
| 非行少女 | 1963 | 日活 | 浦山桐郎 | 心身ともに疲れ切った少女を励 ます少年。 |
| 路傍の石 | 1964 | 東映 | 家城巳代治 | 飲んだくれの父のために進学を 断られた少年が奉公に出る…。 |
| 少年 | 1969 | 創造社 | 大島 渚 | 日本を縦断しながら、わざと車 に当たって金を取る4人の家 族。少年は良心の呵責に苛まれ ながら…。 |
| どぶ川学級 | 1972 | 製作上映委員会 | 橘 祐典 | 非行少年らが青年らとのふれあ いの中で、自立に向かって歩ん で行く。ほんとうの教育とは何 かを問う。 |
| 積木くずし | 1983 | 東宝企画 | 斎藤光正 | 虐められて、次第に非行に走っ ていく少女と両親。 |
| 父と子 | 1983 | サンリオ・フィルム | 保坂延彦 | 水上勉原作。過去ある父と心を 閉ざした息子。二人の郷里へ向 かう旅。 |
| 野ゆき山ゆき 海べゆき | 1986 | 日本テレビ等 | 大林宣彦 | 戦争前夜、懐かしいわんぱく坊 主の時代。 |
| やがて…春 | 1986 | 中山映画/ につかつ児童映画 | 中山節夫 | 小学校で気に入らない同級生を つぎつぎといじめる少年がいた。 |
| 息子 | 1991 | 松竹 | 山田洋次 | 椎名誠の「倉庫作業員」の映画 化。山で一人暮らしをする老父 と、東京でアルバイト生活をする 息子との和解。 |
| 忘れられた子供たち スカベンジャー | 1994 | オフィス・フォー | 四ノ宮浩 | マニラの巨大ゴミ捨て場に隣接 するスラムに6年以上かけて撮 影した、子どもたちの生活。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|----------|------|-------|------|--|
| 闇の子供たち | 2008 | 製作委員会 | 阪本順治 | 梁石日原作。タイやミャンマーでは幼い子どもが売春をさせられたり、臓器移植のために命を奪われている。闇のルートを暴くために…。 |
| 葦牙（あしかび） | 2009 | 製作委員会 | 小池征人 | 虐待をうけた子どもたち。岩手県盛岡市にある児童養護施設に4カ月寝泊まりして作成した記録映画。 |

2. 女性

| | | | | |
|---------------|------|---------------|-------|---|
| 祇園の姉妹 | 1936 | 大映 | 溝口健二 | 人情家の姉と打算的な妹。芸者の悲哀を描く。 |
| 女の一生 | 1949 | 東宝/藤本プロ | 亀井文夫 | 徳永直の原作。病身の父と幼い妹弟を支えて生きる女性。 |
| 西鶴一代女 | 1952 | 新東宝/児井プロ | 溝口健二 | 13歳から御所勤めをし、今は老いて街娼となった女性の一生。自分を貫いて生きた女性と男たちとの出会いと別れ。 |
| 女ひとり 大地を行く | 1953 | キヌタプロ他 | 亀井文夫 | 爆破事故で死んだ(と思われた)夫に代わり炭鉱で働く母とその子。 |
| 縮図 | 1953 | 近代映画協会 | 新藤兼人 | 徳田秋声の原作。芸者置屋に売られた少女の半生。 |
| にぎりえ | 1953 | 新世紀プロ/ 文学座 | 今井 正 | 樋口一葉の『大つごもり』『にぎりえ』『十三夜』のオムニバスの映画化。明治の庶民の暮らしと人間模様。 |
| 女の園 | 1954 | 松竹 | 木下恵介 | 阿部知二原作。戦後の女子大学で良妻賢母教育に反旗を翻えた学生。 |
| たけくらべ | 1955 | 新東宝 | 五所平之助 | 明治の遊廓に生きざるをえなかった姉妹の愛と苦悩。 |
| 女中ッ子 | 1955 | 日活 | 田坂具隆 | 住み込み先の心の歪んだ息子と、その家で働く女性との交流。 |
| 赤線地帯 | 1956 | 大映 | 溝口健二 | 売春禁止法が上程されていた時、売春を生業とする人々の姿。 |
| 流れる | 1956 | 東宝 | 成瀬巳喜男 | 芸者置屋で働く女性が見た花柳界の世界。 |
| 荷車の歌 | 1959 | 全国農村映画協会 | 山本薩夫 | 姑に虐められ夫に裏切られながらも、懸命に生きる女性。 |

日本映画人権関連小一覧

| | | | | |
|------------------|------|----------------|-------|--|
| 女が階段を昇るとき | 1960 | 東宝 | 成瀬巳喜男 | 夫の死後、雇われマダムとして生きる女性は、凜として世の中に対していく…。 |
| 五番町夕霧楼 | 1963 | 東映 | 田坂具隆 | 水上勉の原作。金閣寺放火事件を題材にした青年僧と遊女の物語。同名作品が1980年（山根成之監督）にもある。 |
| につぼん昆虫記 | 1963 | 日活 | 今村昌平 | 戦中戦後、時代に翻弄されて底辺に生きた一女性の一生。 |
| 母 | 1963 | 近代映画協会 | 新藤兼人 | 再婚した女性は、夫と娘を失うが、新しい命が宿っていることを知る。 |
| 赤い殺意 | 1964 | 日活 | 今村昌平 | 強盗に犯された妻は死のうとすがるが…。 |
| なみだ川 | 1967 | 大映 | 三隅研次 | 山本周五郎の原作。江戸の町でお互いを労りながら生きる姉妹。 |
| サンダカン 八番娼館 望郷 | 1974 | 東宝/ 俳優座映画放送 | 熊井 啓 | 明治の末、東マレーシアに渡った“からゆきさん”と呼ばれた底辺女性史。主演の田中絹代はベルリン映画祭女優演技賞を授賞。 |
| 大地の子守歌 | 1976 | 行動社/木村プロ | 増村保造 | 苛酷な運命にあがらう売春婦にされた少女の流転の人生。 |
| 人間の証明 | 1977 | 角川春樹事務所 | 佐藤純彌 | アフリカ系アメリカ人が東京で不審死。戦後日本の高度成長期の母子の悲劇。 |
| 泥の河 | 1981 | 木村プロ | 小栗康平 | 大阪の安治川の河口で売春をして姉弟を育てる母と周辺の人々。モスクワ映画祭銀賞。 |
| ザ・レイブ | 1982 | 幻燈社等 | 東 陽一 | 強姦犯を告訴した女性が裁判で受ける屈辱。しかし、その中で大きく成長していく。 |
| 序の舞 | 1984 | 東映 | 中島貞夫 | 明治の女性画家・上村松園。子どもを抱えて時代を懸命に生きていく。 |
| 女衞・ZEGEN | 1987 | 東映/今村プロ | 今村昌平 | 明治から昭和にかけて東南アジアに暗躍した海外売春婦の手配師の半生。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|-----------------|------|--------------|------------|--|
| 華の乱 | 1988 | 東映 | 深作欣二 | 与謝野鉄幹と結婚した晶子は11人の子どもを育てる。しかし、次第に無気力になっていく夫との間にすきま風が…。 |
| 母 | 1988 | 松竹ほか | 松山善三 | 看病と農作業に精一杯の母を見つめる娘。 |
| 東雲楼 女の乱 | 1994 | 東映 | 関本郁夫 | 遊廓のなかの女性たち。 |
| 日本一短い「母」への手紙 | 1995 | 東映 | 澤井信一朗 | 愛人のもとに去った母にあてた、父親に育てられた息子の手紙。 |
| 幻の光 | 1995 | テレビマンユニオン | 是枝裕和 | 祖母の家出と夫の自殺。何故二人を止めることができなかったのか、と煩悶する女性。ヴェネチア映画祭金オゼッラ賞受賞。 |
| がんばっていきましょい | 1998 | アルミタラ・ピクチャーズ | 磯村一路 | 女子ボート部が高校にない。それなら創れば良いじゃないか。 |
| 千と千尋の神隠し | 2001 | スタジオジブリ | 宮崎 駿 | 無気力で生きてきた少女は、不思議な世界に迷いこむが、湯屋で生きる人々から生きる意欲をもらっていく。 |
| 海は見ていた | 2002 | 製作委員会ほか | 熊井 啓 | 江戸時代の私娼。貧困と屈辱の中でたくましく生きる群像。 |
| TV ドラマ ラスト・フレンズ | 2008 | フジテレビ | 加藤裕将 ほか | DV、セックスストレス、セックス恐怖症、性同一性しょうがいなどを真正面から取り組んだ作品。 |

3. しょうがい者・病者・高年者

| | | | | |
|-------------|------|------------|------|--|
| 小島の春 | 1940 | 東京発声 | 豊田四郎 | かつての強制収容の時代の映画。瀬戸内海のハンセン病療養所の女医は無癩県運動の下、瀬戸の島々の患者に「説得」を続ける。 |
| 名もなく貧しく美しく | 1961 | 東京映画 | 松山善三 | 戦争をくぐり抜けてきた聴覚しょうがい者夫婦。1967年には同じ監督で続編「父と子 続・名もなく貧しく美しく」が撮られている。 |
| につぼんのお婆あちゃん | 1962 | M・I・Iプロ・松竹 | 今井 正 | 家出してきた高年女性と、老人ホームから抜け出てきた女性二人は…。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|--------------|------|--------------|-----------|--|
| 愛と死を見つめて | 1964 | 日活 | 斉藤武市 | 浪人中の青年と病院で出会った難病の女性との純愛 |
| 新日本暴行暗黒史・復讐鬼 | 1968 | 若松プロ | 若松孝二 | 肺病のため村人から村八分にされた男。復讐の鬼となる。 |
| 恍惚の人 | 1973 | 東宝 | 豊田四郎 | 認知症をいちはやく問題化した作品。 |
| さよならCP | 1974 | 疾走プロ | 原一男 | CP者の組織「青い芝」の果敢な社会への問い。 |
| 砂の器 | 1974 | 松竹・橋本プロ | 野村芳太郎 | 松本清張の推理小説。迷宮入りかと思われた殺人事件を追っていくと、新進気鋭の音楽家に突きあたった。引き裂かれた父と子。ハンセン病差別はどう描かれたか。 |
| ねむの木の詩がきこえる | 1977 | ねむの木 | 宮城まり子 | 身体しょうがい者の施設「ねむの木学園」と宮城まり子の格闘の日々。 |
| はなれ警女おりん | 1977 | 表現社 | 篠田正浩 | 脱走兵と知り合いになった警女は…。 |
| 典子は、今 | 1981 | 活人堂シネマ | 松山善三 | サリドマイド児として生まれた典子。本人の出演による。 |
| 春駒のうた | 1986 | 共同映画全国系列会議ほか | 神山征二郎 | 小児マヒの少年と祖父との心の交流。そして戦争への怒り。 |
| しがらきから吹いてくる風 | 1990 | シグロ | 西山啓文 | 窯業の町で働く、知的しょうがい者たち。 |
| 遙かなる甲子園 | 1990 | 大映 | 大澤豊 | 甲子園出場をめざす沖繩ろう学校の奮闘。 |
| 私を抱いてそしてキスして | 1992 | 東映 | 佐藤純彌 | 自分がHIVに侵されていると知った女性はエイズの偏見と闘って行く。 |
| ブラック・ジャック | 1996 | 手塚プロダクション/松竹 | 出崎 統 | 無資格だが天才医師は巨額な治療費を請求する…。 |
| 愛する | 1997 | 日活 | 熊井 啓 | 遠藤周作の『わたしが棄てた・女』の映画化。ハンセン病と誤診された少女は、療養所の温かさに触れて留まる決意をする。 |
| 秋桜（コスモス） | 1997 | 製作委員会 | すずき じゅんいち | 輸血でHIVに感染し、7年ぶりに帰国した17歳の少女。偏見に立ち向かう。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|-----------------|------|------------------------|------|--|
| 生きたい | 1998 | 近代映画社 | 新藤兼人 | 認知しょうがいが進む高年男性と心の病のある娘の二人暮らし。 |
| 風の歌が聴きたい | 1998 | ピー・エス・シー ほか | 大林宣彦 | 夫婦どちらも耳が聞こえない。トライアスロンに挑戦し続け、レースが終わって出産に駆け付ける夫。清々しい一作。 |
| 友情/Friendship | 1998 | ムービーブラザーズ | 和泉聖二 | 急性リンパ性白血病に侵された女子中学生とクラスメイトたち。 |
| アイ・ラブ・ユー | 1999 | 製作上映委員会 ほか | 大澤 豊 | 手話で演劇上演を目指す母。 |
| 独立少年合唱団 | 2000 | wowow | 緒方 明 | いじめられていた吃音症の中学生が合唱団に入って…。 |
| ひなたぼっこ | 2000 | ちばMDエコネット ほか | 桐野直子 | 普通高校に通う知的しょうがい者の姿を追ったドキュメント。 |
| エイブル | 2001 | able映画制作基金 ほか | 小栗謙一 | 知的しょうがいのある若人二人が、アメリカで3ヶ月間、ホームステイする。言葉ではなく人間そのものに向き合って。 |
| AIKI 〈アイキ〉 | 2002 | 日活ほか | 天願大介 | 車椅子で黒帯をもつデンマーク人がモデル。事故で希望を失った青年が、合気道に生きる希望を見出していく。 |
| 世界の中心で、 愛を叫ぶ | 2004 | 製作委員会 | 行定 勲 | 愛し合った女性は白血病で亡くなる。彼女の念願だった地に亡骸を持って訪問する。 |
| 1リットルの涙 | 2005 | 東映 | 岡村 力 | 脊髄を侵される病になった少女は、懸命に自身の病と闘い25歳の人生を生きぬいた。 |
| 新・あつい壁 | 2007 | 上映実行委員会 | 中山節夫 | ある殺人事件。元ハンセン病患者が犯人とされ死刑にされた。ライターが取材をすすめるうちに冤罪と分かってくる。 |
| ふるさとを ください | 2008 | きょうされん (共同作業所全国連絡会) | 富永憲治 | 精神しょうがい者の施設ができると揺れる地域と、施設を出て街中で暮らしたいと願う統合失調症の人々。 |

4. 身分（制度）

| | | | | |
|---------|------|------|------|--|
| 無法松の一生 | 1943 | 大映 | 稲垣 浩 | 陸軍大尉一家と知り合った人力車夫の松五郎は、大尉死後残された母と子どもの世話をする。1958年の同名作品（稲垣浩監督）はヴェネチア映画祭金獅子賞を受賞。65年にも同名作品（三隅研次監督）。 |
| 山椒大夫 | 1954 | 大映 | 溝口健二 | 平安時代、人買いに騙されて引き離された子どもは奴隷として売られる。ヴェネチア映画祭銀獅子賞受賞作。 |
| 七人の侍 | 1954 | 東宝 | 黒澤 明 | 野盗集団が襲ってくる。村人たちは侍たちを雇った。最後に百姓たちが勝つ。 |
| 下郎の首 | 1955 | 新東宝 | 伊藤大輔 | サイレント映画「下郎」のリメイク。身勝手な主人に捨てられる奴。 |
| 元禄美少年記 | 1955 | 松竹 | 伊藤大輔 | 赤穂浪士。邸内に討ち入りさせてもらえない足軽。しかし切腹では同じ庭先で。 |
| 絶唱 | 1958 | 日活 | 滝沢英輔 | 大地主の息子が山番の娘と恋をして、駆け落ちする…。 |
| 愛と希望の街 | 1959 | 松竹 | 大島 渚 | 川崎の貧しい人々が住む町で暮らす母と兄妹。 |
| 安寿と厨子王丸 | 1961 | 東映 | 藪下泰司 | 原作は森鷗外の『山椒太夫』の長編動画。 |
| 切腹 | 1962 | 松竹 | 小林正樹 | 切腹を通して武家社会の偽善性を批判。カンヌ映画祭審査員特別賞授賞。 |
| この首一万石 | 1963 | 東映 | 伊藤大輔 | 身分制度や武士道を批判した時代劇。 |
| 武士道残酷物語 | 1963 | 東映 | 今井 正 | 主君や国家のために犠牲となって死んでいく7代の系譜。 |
| 絶唱 | 1966 | 日活 | 西河克己 | 「身分」違いの恋と病気による死…。1975年にも同名で同じ監督で製作されている。 |
| 上意討ち | 1967 | 三船プロ | 小林正樹 | 不条理な封建社会の秩序を描く。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|---------|------|-----------|-------|--|
| 忍者武芸張 | 1967 | 創造社 | 大島 渚 | 原作は白土三平の長編劇画。百姓一揆が激発する世に生きる人々。 |
| 怪談・蛇女 | 1968 | 東映 | 中川信夫 | 地主は小作人を馬車で轢き殺し、その妻も鞭打って殺してしまう。それ以来、地主の家には亡霊が…。 |
| 赤毛 | 1969 | 三船プロ | 岡本喜八 | 幕末期、民衆のために先頭になって戦い、それ故に殺されていく農民。 |
| 伊豆の踊り子 | 1974 | 東宝 / ホリプロ | 西河克己 | 川端康成原作。旧制一高の学生と田舎周りの踊り子のほのかな恋。同名の作品は、1933年に五所平之助監督、1954年に野村芳太郎監督、1960年に川頭義郎監督が、いずれも松竹から。1967年に恩地日出夫監督が東宝から出している。 |
| 春来る鬼 | 1989 | アナック | 小林 旭 | 駆け落ちして流れ着いた島で…。 |
| 阿部一族 | 1995 | 松竹 | 深作欣二 | 一族の名誉を汚した主君に対して…。 |
| 郡上一揆 | 2000 | 製作委員会 | 神山征二郎 | 江戸時代の三大一揆で、藩主の更迭に成功した一揆の物語。 |
| たそがれ清兵衛 | 2002 | 松竹ほか | 山田洋次 | 幕末。剣の使い手だが、静かに暮らす武士が、藩命で罪人を殺害するよう命ぜられる…。 |
| 隠し剣 鬼の爪 | 2004 | 松竹 | 山田洋次 | 藤沢周平の時代小説より。侍が農民の女性に恋をした。身分にこだわり告白できない侍。 |

5. アイヌ民族・沖縄・部落差別

| | | | | |
|---------|------|----|-------|-------------------------------|
| 北方に鐘が鳴る | 1943 | 松竹 | 大曾根辰夫 | 戦争検閲下の映画が、アイヌ民族をどのような視点で作ったか。 |
|---------|------|----|-------|-------------------------------|

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|----------------|------|--------------------|-------|--|
| 破戒 | 1948 | 松竹 | 木下恵介 | 島崎藤村の同名小説の映画化(池部良主演)。瀬川丑松は決して自分の出身を明かすなという父の戒めを破る。差別に屈することなく一人の人間として生きたい。青年教師の差別との格闘を描く。1962年には同名(大映)で市川崑監督・市川雷蔵主演の作品が作られた。 |
| ひめゆりの塔 | 1953 | 東映 | 今井 正 | 沖縄戦で臨時看護婦部隊として従軍し、全員戦死した沖縄師範女子生徒のひめゆり部隊の物語。1968年にも舛田利雄監督による「あゝひめゆりの塔」(日活)が製作され、また1995年にも神山征二郎監督による検証を重ねた、真実に忠実な「ひめゆりの塔」が製作されている。 |
| 君の名は 第2部 | 1954 | 松竹 | 大庭秀雄 | 菊田一夫原作。東京大空襲下で出会った男女は名前を告げぬまま別れたが…。1952年からの空前の人気ラジオドラマ。映画化のなかで、アイヌ民族がどう描かれたか。 |
| 森と湖のまつり | 1958 | 東映 | 内田吐夢 | 1958年に映画がアイヌ民族をどう描いたか、50年の歳月が経った今日から見ると。 |
| 網走番外地 吹雪の決闘 | 1959 | 東映 | 石井輝男 | 貧農出身の受刑者が網走刑務所を脱走する。18作の人気シリーズ。アイヌ民族がどう描かれたか。 |
| 紅顔の密使 | 1959 | 東映 | 加藤 泰 | 平安時代、朝廷から派遣された密使は反乱軍を殲滅する。東北の先住民族の人々はどう描かれたか。 |
| コタンの口笛 | 1959 | 東宝 | 成瀬巳喜男 | アイヌの姉妹が差別や貧困に向かって生きていく。 |
| 大草原の渡り鳥 | 1960 | 日活 | 斎藤武市 | 全9作の人気やくざシリーズ。アイヌ民族がどう描かれたか。 |
| 人間みな兄弟 | 1960 | 日本ドキュメント フィルムほか | 亀井文夫 | 原案・杉浦明平。近畿の被差別部落。厳しい差別と生活の闘いの記録映画。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|------------------|------|-------------------------|------|---|
| 口笛を吹く無宿者 | 1961 | 東映 | 山崎大助 | 蝦夷地と言われた頃、交易場で不正な取引をする和人に…。この映画で、アイヌ民族がどう描かれたか。 |
| 万年太郎と 姉御社員 | 1961 | 東映 | 小林恒夫 | 人気作家・源氏鶏太の原作。映画化作品はアイヌ民族をがどう描いたか。 |
| 水戸黄門海を渡る | 1961 | 大映 | 渡辺邦夫 | 月形竜之介主演の人気シリーズ水戸黄門漫遊記。この映画で、アイヌ民族がどう描かれたか。 |
| 地の群れ | 1970 | えるふプロ・ATG | 熊井 啓 | 井上光晴の原作。被差別部落・在日朝鮮人・被爆者問題が重なる。厳しい現実を追及した。 |
| 夏の妹 | 1972 | 創造社 | 大島 渚 | 本土復帰直後の沖縄が舞台。本土と沖縄の関係。 |
| 多羅尾伴内 | 1978 | 東映 | 鈴木則文 | 全10作の片岡千恵蔵の人気現代ミステリーアクション。映画のなかで、アイヌ民族がどう描かれたか。 |
| 瀬降り物語 | 1985 | 東映 | 中島貞夫 | 山の民を描いて、差別・戦争・自然と人間のあり方を見つめる作品。 |
| 人間の街 | 1986 | シグロ | 小池征人 | 大阪の被差別部落で食肉産業に生きる人々のドキュメンタリー。 |
| 橋のない川 | 1992 | ガレリア・西友 | 東 陽一 | 住井すえの同名長編小説を映画化。大正年間、水平社の創立までにいたる被差別部落の青年たちの闘い。1969年に今井正監督によって映画化されたが（ほろぷ映画、一部・二部）、その表現が問題となった。 |
| GAMA-月桃の花- | 1996 | こぶしプロ/ 成功させる会 | 大澤 豊 | ガマと呼ばれる鍾乳洞。沖縄戦で激しい空爆に曝された女性は子ども二人を抱えてガマに避難したが…。 |
| ナビィの恋 | 1999 | イエス・ビジョンズ/ オフィス・シロウズ | 中江裕司 | 60年前の恋人と駆け落ちする老女の物語。 |
| 新しき風 若き日の依田勉三 | 2004 | 松竹 | 松島哲也 | 明治15年（1882）に30名の開拓団を率いて北海道に渡り、夢を捨てずに百年後を夢見つづけた依田。アイヌの人々はどう描かれたか。 |

日本映画人権関連小一覧

| | | | | |
|------|------|----|------|---|
| 北の零年 | 2005 | 東映 | 行定 勲 | 1871（明治4）年、北海道の地を開墾すれば領地になるという政府の言葉を信じて…。厳冬に救いの手をさしのべたのはアイヌの人々であった。映画はアイヌ民族をどう描いたか。 |
|------|------|----|------|---|

6. 在日コリアン・在日外国人

| | | | | |
|------------------------------------|------|-------------|-------|--|
| キクとイサム | 1959 | 大東映画 | 今井 正 | アメリカの占領時代。「クロンボ」とののしられるが、姉弟は差別のなかで強く生きていく。 |
| ユンボギの日記 | 1965 | 創造社 | 大島 渚 | 原作はイ・ユンボギの同名手記。韓国の少年少女の生活。 |
| 涙くんさよなら | 1966 | 日活 | 西村昭五郎 | ジュリーはアメリカから、母親を捜しに日本にやって来た。若者たちがそれに協力する…。 |
| 伽椰子のために | 1984 | 劇団ひまわり | 小栗康平 | 在日韓国人青年と、日本人の女性と韓国人男性の養子として育った娘との愛と別れ。 |
| はじけ鳳仙花 一わが筑豊 わが朝鮮一 | 1984 | 幻燈社 | 土本典昭 | 戦時中、強制連行された朝鮮人。苛酷な労働の中で死んでいった人々。 |
| 神々の履歴書 | 1988 | 製作委員会 | 前田憲二 | 日本文化のルーツを朝鮮にたどる古代史ロマン。 |
| 潤（ゆん）の街 | 1989 | 製作プロジェクト・仕事 | 金 佑 宣 | 在日朝鮮人の娘と日本人青年の交際。 |
| 土俗の乱声 | 1991 | 映像ハヌル | 前田憲二 | 「神々の履歴書」の姉妹編。中国・韓国・日本の現代に生きる民俗に共通性とルーツを歩く。 |
| 愛について、東京 | 1992 | 製作委員会 | 柳町威夫 | 東京の荒川で知り合った、中国人留学生と日本で生まれ育った中国人女性との愛。 |
| あふれる熱い涙 | 1992 | シネバレー | 田代廣孝 | 日系フィリピン人女性が農村花嫁としてやってきた。彼女の目に映った日本は。 |
| 月はどっちに出ている | 1993 | シネカノン | 崔 洋 一 | 在日コリアン・ドライバーとその周辺。 |
| 妻はフィリピーナ MY WIFE IS FILIPINA | 1993 | 万福寺シネマ | 寺田靖範 | フィリピン女性と結婚した学生の新婚生活ドキュメント。 |

日本映画人権関連小一覧

| | | | | |
|-----------------------|------|--------------|--------|--|
| 愛の黙示録 | 1996 | HUMANSERVICE | キム・スヨン | 孤児院を運営する朝鮮人と結婚した日本人女性・田内千鶴子。“韓国孤児のおモニ”と呼ばれている。 |
| パッチギ | 2005 | シネカノンほか | 井筒和幸 | 京都のある高校空手部と朝鮮高校の番長アチソンらとは、激しく対立していた。アチソンの妹で、フルートが得意なキョンジャが奏でる美しい曲は「イムジン河」という朝鮮半島に思いを馳せた歌だった。 |
| パッチギ！ LOVE & PEACE | 2007 | シネカノン | 井筒和幸 | 「パッチギ」の後編。妹が入った芸能界は弱者に支えられた世界だった。 |

7. 労働・貧困

| | | | | |
|---------|------|-----------|-------|---|
| 路傍の石 | 1938 | 日活 | 田坂具隆 | 原作・山本有三。厳しい丁稚生活に耐える少年とその成長。1955年と1960年に同名の作品が続く（原研吉監督、久松静児監督）。 |
| 土 | 1939 | 日活 | 内田吐夢 | 原作・長塚節。厳しい農民の生活。 |
| 酔いどれ天使 | 1948 | 東宝 | 黒澤明 | 貧しい人々を診る酒飲み医者と闇市のヤクザ。 |
| 蟹工船 | 1953 | 現代ぷろだくしょん | 山村聡 | 昭和初期、生活のために蟹工船に乗り組んでいく労働者と非人間的な監督者への反抗。2009年にも同名でSABU監督による映画が製作された。 |
| 太陽のない街 | 1954 | 新星映画ほか | 山本薩夫 | 1926年貧乏長屋に住む印刷所の労働者とその家族1万5千人がストライキに入った。 |
| どぶ | 1954 | 近代映画協会 | 新藤兼人 | 横浜の鶴見川のバラックの町の人間模様。 |
| どん底 | 1957 | 東宝 | 黒澤明 | ゴリキー原作。幕末の貧乏長屋に住む人々の人間模様。 |
| 蟻の街のマリア | 1958 | 歌舞伎座映画 | 五所平之助 | 東京のバタヤ街“蟻の街”に、お嬢さんが飛び込んでくる。実話の映画化。 |
| 栖山節考 | 1958 | 松竹 | 木下恵介 | 貧しい山村の生活を生き抜くために、口減らしのための姥棄て。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|---------------|------|-------------------------|-------|---|
| 愛と希望の街 | 1959 | 松竹 | 大島 渚 | 鳩は放しても飼い主のところに戻ってくる。これを悪用して鳩を売る少年。 |
| にあんちゃん | 1959 | 日活 | 今村昌平 | 佐賀県の小さな炭坑町でけなげに生きる4人兄妹。 |
| 太陽の墓場 | 1960 | 松竹 | 大島 渚 | 大阪・釜ヶ崎。住民を巻き込んだ暴力団抗争とその破滅。 |
| 豚と軍艦 | 1961 | 日活 | 今村昌平 | 社会の下積みで生きる人々のエネルギー賛歌。米軍基地横須賀が舞台。 |
| キューボラの ある街 | 1962 | 日活 | 浦山桐郎 | 埼玉県川口市。鋳物の町でくらす姉弟。 |
| ちいさこべ | 1962 | 東映 | 田坂具隆 | 職人氣質の大工が、無償の世話を続ける女性から学んでいく。 |
| 下町の太陽 | 1963 | 松竹 | 山田洋次 | 出世をめざす恋人。だんだんと距離が出来ていく町工場で働く女性は。 |
| あこがれ | 1966 | 東宝 | 恩地日出夫 | 飲食店で働く娘が酒飲みの父親の面倒を見ている…。 |
| わが道 | 1974 | 製作実行委員会 ほか | 新藤兼人 | ある出稼ぎ労働者が行き倒れになり、解剖実験材料として扱われた。 |
| ああ野麦峠 | 1979 | 新日本映画 | 山本薩夫 | 低賃金と長時間労働のもとで働く女性労働者たち…。 |
| あゝ野麦峠 | 1979 | 新日本映画 | 山本薩夫 | 長野県で働く岐阜の少女たち。苛酷な労働と青春。 |
| 兎の眼 | 1979 | 新星映画・ 共同映画 全国系列会議 | 中山節夫 | 灰谷健次郎原作。ごみ処理場の近くの学校が舞台。先生と子ども心の交流。 |
| アッシイたちの街 | 1981 | 大映 | 山本薩夫 | 京浜工業地帯で働く若い組立労働者たち。 |
| じゃりん子チエ | 1981 | キティ/東京 ムービー新社 | 高畑 勲 | 大阪の下町に住む女子小学生。だらしない大人を教える。 |
| マタギ | 1982 | 青銅プロ | 後藤俊夫 | 秋田の大自然で狩猟を生業とする人々の生活。 |
| 楯山節考 | 1983 | 東映・今村プロ | 今村昌平 | 深沢七郎原作。70歳を過ぎた老人は子どもに背負われて山に棄てられる山村の掟。カンヌ映画祭グランプリ受賞作。 |

日本映画人権関連小一覧

| | | | | |
|-----------|------|--------------------------|---------------|---|
| 虹の橋 | 1993 | 小川企画 | 松山善三 | 舞台は江戸時代の貧しい長屋。遊廓に売られた妹を助けるために両親を殺し死罪になった男の弔い。 |
| 鉄道員〈ぼっぼや〉 | 1999 | 製作委員会 | 降旗康男 | 定年を迎えようとするローカル線の駅長と突然現れた少女。 |
| 神の子たち | 2001 | オフィスフォー プロダクション ほか | 四ノ宮 浩 | 「忘れられた子供たち・スカベンジャー」の続編。フィリピンのケソン市にある巨大ごみ処理場の惨事。 |
| 未来世紀ニシナリ | 2006 | フルーク映像 | 田中幸夫・ 山田哲夫 | 大阪・西成に生きる人々と、未来を紡ぐための格闘を撮る。 |
| ホームレス中学生 | 2008 | 東宝 | 古厩智之 | 田村裕の同名本の映画化。突然、家から追い出され、公園で独り生き延びる。 |

8. 教育

| | | | | |
|------------------|------|---------------------------------|-------|--|
| 綴方教育 | 1938 | 東宝 | 山本嘉次郎 | 昭和恐慌、しのびよる軍国主義の中、豊田正子の作文集の映画化。小学校の綴り方教育に大きな影響を与えた。 |
| 山の彼方に 第1部・第2部 | 1950 | 東宝 | 千葉泰樹 | 石坂洋次郎の同名小説の映画化。復員してきた教師は心優しく、現実との間で葛藤を続ける…。1960年にも再映画化された。 |
| 二十四の瞳 | 1954 | 松竹 | 木下恵介 | 1928年から敗戦まで小豆島の分教場に赴任した女性教師と生徒たちとの交流。1987年にも同名作品（朝間義隆監督）。 |
| 人間の壁 | 1959 | 山本プロ | 山本薩夫 | 同名の石川達三の原作。共稼ぎを理由に退職をせまられた女性教師が立ち上がる。 |
| こころの山脈 | 1966 | 本宮方式映画 制作の会 | 吉村公三郎 | 女性が臨時教員となる。PTAや先生に批判されながら次第に認められていく。 |
| 学校 | 1993 | 松竹 | 山田洋次 | 夜間中学に通う多様な生徒と教師。 |
| 学校Ⅱ | 1996 | 松竹/日本テレビ /住友商事 | 山田洋次 | 高校養護学校が舞台。問題児を見守る教師。 |
| 学校Ⅲ | 1998 | 松竹/日本テレビ /住友商事/角川 書店/読売新聞 | 山田洋次 | 中高年対象の職業訓練学校で資格をめざす、さまざまな経歴をもつ人たち。 |

日本映画人権関連小一覧

| | | | | |
|---------|------|--------------------------------|------|--------------------------------------|
| 十五才・学校Ⅳ | 2000 | 松竹/日本テレビ /住友商事/角川 書店/博報堂 | 山田洋次 | 登校拒否の少年が向かう屋久島の縄文杉。ヒッチハイクで出会う人々との交流。 |
|---------|------|--------------------------------|------|--------------------------------------|

9. 犯罪と刑罰

| | | | | |
|--------------------|------|-------------------|------|--|
| 黒い潮 | 1954 | 日活 | 山村 聡 | 下山事件を追う新聞記者。監督はブルーリボン新人賞受賞。 |
| 真昼の暗黒 | 1956 | 現代ぶろだくしょん | 今井 正 | 弁護士・正木ひろしの原作。冤罪の八海事件の真実。 |
| 帝銀事件・死刑囚 | 1964 | 日活 | 熊井 啓 | 1948年におこった銀行員12人の毒殺事件の怪。 |
| 首 | 1968 | 東宝 | 森谷司郎 | 正木ひろしの原作。1943年に起きた警察署で脳溢血で亡くなった鮎夫の事件。死因は拷問?…。 |
| 絞死刑 | 1968 | 創造社 / A T G | 大島 渚 | 在日朝鮮人の少年の殺人事件。差別してきた日本社会が裁けるのかという疑問が生じた。 |
| 幸福の 黄色いハンカチ | 1977 | 松竹 | 山田洋次 | 刑務所から出所してきた夫と、待ちわびていた妻。 |
| 復讐するは 我にあり | 1979 | 松竹・今村プロ | 今村昌平 | 佐木隆三の原作。5人を殺害した男の逃亡記。 |
| 日本の暑い日々 謀殺・下山事件 | 1981 | 俳優座映画放送 | 熊井 啓 | 1954年に起きた下山事件のドキュメント・タッチ映画。 |
| 堀の中の 懲りない面々 | 1987 | 松竹・ 磯田事務所 | 森崎 東 | 安部譲二の自伝小説の映画化。看守の暴力に耐えて出所する日を待つ日々。 |
| うなぎ | 1997 | ケイエスエス・ 衛星劇場ほか | 今村昌平 | 妻を殺した男の更生と葛藤。カンヌ映画祭パルム・ドール大賞受賞。 |
| 39・ 刑法第三十九条 | 1999 | 光和インター ナショナル | 森田芳光 | 心神耗弱者の行為はその刑を減輕する。39条をテーマにした法廷劇。 |
| 日本の黒い夏・ 冤罪 | 2000 | 日活 | 熊井 啓 | 1994年に起きた松本サリン事件。 |
| SABU/さぶ | 2002 | 名古屋テレビ・ 電通ほか | 三池崇史 | 山本周五郎原作。盗人の罪を着せられた男は復讐を考える。 |
| 手紙 | 2006 | 日活 | 生野滋朗 | 弟の学資のために強盗に入り、殺人を犯した兄。囚人を兄にもった弟は兄との関係を絶とうと手紙を書く。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|-------------------|------|-------------------|------|----------------------|
| それでもボクは やっていない | 2007 | フジテレビ/ アルタミラほか | 周防正行 | 東京高裁で逆転無罪となった痴漢冤罪事件。 |
|-------------------|------|-------------------|------|----------------------|

10. 戦争

| | | | | |
|-----------------------|------|---------|-------|--|
| 五人の斥候兵 | 1938 | 日活 | 田坂具隆 | 「日本の戦争映画で芸術作品として評価された最初の作品」と言われている。 |
| 戦ふ兵隊 | 1939 | 東宝文化映画部 | 亀井文夫 | 中国人の悲惨さをも描いたので公開禁止となった。監督は戦争に批判的で投獄された。 |
| 麦と兵隊 | 1939 | 日活 | 田坂具隆 | 火野葦平の120万部の大ヒット作の映画化。侵略戦争に引き出され黙々たる兵士の姿。戦中は上映禁止された。 |
| 陸軍 | 1944 | 松竹 | 木下恵介 | 西南から日中戦争まで3代にわたる家族のドラマ。 |
| 我が青春に 悔いなし | 1946 | 東宝 | 黒澤 明 | 戦中、戦争反対で迫害され、じつと耐えた妻。戦争が終って。 |
| 戦争と平和 | 1947 | 東宝 | 亀井文夫 | 戦地から帰還した兵士は妻が友人と再婚したのを知る…。 |
| 風の中の牝鶏 | 1948 | 松竹 | 小津安二郎 | 戦地から戻ってこない夫。貧窮のなかで一度だけ売春した妻…。 |
| 流れる星は 生きている | 1949 | 大映 | 小石栄一 | 3人の子どもを育てながら夫の帰りを待つ妻…。 |
| 暁の脱走 | 1950 | 新東宝 | 谷口千吉 | 中国中部戦線で兵士が従軍慰安婦と脱走する…。軍を真正面から批判した作品。 |
| 日本戦歿学生の手記 きけわたつみの声 | 1950 | 東横映画 | 関川秀雄 | 戦没学生の手記にもとづく反戦映画。 |
| また逢う日まで | 1950 | 東宝 | 今井 正 | ロマン・ロランの小説『ピエールとリュイス』の映画化。若い二人は空襲警報の中、地下鉄のプラットフォームで知り合う。 |
| 真空地帯 | 1952 | 新星映画 | 山本薩夫 | 皇軍兵士の内務班の非人間的な教育。 |
| 雨月物語 | 1953 | 大映 | 溝口健二 | 江戸時代の上田秋成の原作。戦争や金の虜になる男たち。それに翻弄された女たちが死霊となって現れる。 |

日本映画人権関連小一覧

| | | | | |
|---------------------------------|------|--------------------|-------|---|
| 雲ながるる果てに | 1953 | 重宗プロ/ 新世紀映画 | 家城巳代治 | 特攻隊に乗り組む学徒航空兵の青春群像。 |
| 日本の悲劇 | 1953 | 松竹 | 山下恵介 | 戦争で夫を失った女性が二人の子どもをかかえ、温泉旅館で働く…。 |
| 硫黄島 | 1959 | 日活 | 宇野重吉 | 日米の激戦地・硫黄島からの帰還兵は、戦友を死なせたことに罪悪感をもっていた…。 |
| 人間の条件 第1部・純愛篇/ 第2部・激怒篇 | 1959 | にんじんくらぶ/ 歌舞伎座映画 | 小林正樹 | 五味川純平の原作。幸せな夫婦にしるのびよる戦争の影…。 |
| 人間の条件 第3部・望郷篇/ 第4部・戦雲篇 | 1959 | 人間プロ | 小林正樹 | 軍隊内部の不条理な世界で苦しむ兵。 |
| 人間の条件 第5部・死の脱出/ 第6部・曠野の彷徨 | 1961 | 松竹/文芸プロ にんじんくらぶ | 小林正樹 | 敗戦後、強制収容所から逃亡したその果てに…。 |
| 野火 | 1959 | 大映 | 市川崑 | フィリピン戦線のレイテ島で、山中を逃げまどう兵士たちとその極限。 |
| 私は貝になりたい | 1959 | 東宝 | 橋本 忍 | 上官の命令で捕虜を殺害した罪で死刑となる兵。どうしても生まれ変わらなければならないなら、私は貝になりたい。 |
| 笛吹川 | 1960 | 松竹 | 木下恵介 | 戦国の世に翻弄される百姓一家。 |
| 世界大戦争 | 1961 | 東宝 | 松林宗恵 | 両陣営の核ミサイルが発射された。世界の都市が壊滅していく…。 |
| 拝啓天皇陛下様 | 1963 | 松竹 | 野村芳太郎 | 孤児だった兵士にとって、軍隊は良い住処だった。しかし、戦争が終わると…。 |
| 続・ 拝啓天皇陛下様 | 1963 | 松竹 | 野村芳太郎 | 民間からの献納犬の死を戦後、知らせに行く…。 |
| みんなわが子 | 1963 | 全国農村映画協会/ATG | 家城巳代治 | 山間へ疎開した児童と女性教師。 |
| 陸軍残虐物語 | 1963 | 東映 | 佐藤純弥 | 補充兵は徹底的な虐めの中で…。 |
| 清作の妻 | 1965 | 大映 | 増村保造 | 日露戦争で負傷して帰ってくる夫。二度と戦争にいかせないために妻は夫の眼を…。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|--------------------------|------|--------------------|----------|--|
| 赤い天使 | 1966 | 大映 | 増村保造 | 敵に包囲された従軍看護婦は…。 |
| 日本のいちばん長い日 | 1967 | 東宝 | 岡本喜八 | 1945年8月14日正午から15日までの日本の実録。 |
| 太平洋の地獄 | 1968 | 米/松竹 | ジョン・ブアマン | 日米戦争のころ、太平洋の孤島に日本兵と米兵が共同生活を余儀なくされる…。 |
| 肉弾 | 1968 | ATG/ 肉弾をつくる会 | 岡本喜八 | 防空壕で結ばれ、空襲で恋人を失った青年…。 |
| 戦争と人間 第1部 運命の序曲 | 1970 | 日活 | 山本薩夫 | 同名の五味川純平の長編小説の映画化。日本財界と関東軍の謀略。戦時下の自由主義者の苦悩を描く。国家のための戦争とは何かを問う。 |
| 戦争と人間 第2部 愛と悲しみの山河 | 1971 | 日活 | 山本薩夫 | 日中戦争の勃発のなかで蠢く人々。 |
| 戦争と人間 第3部・完結篇 | 1973 | 日活 | 山本薩夫 | ノモンハンでの日本軍惨敗の中で…。 |
| 東京大空襲 ガラスのうさぎ | 1980 | 大映/共同映画 全国系列会議 | 橋 祐典 | 1945年3月10日の東京大空襲のなかで、父母と妹を奪われた少女。 |
| 子どものころ 戦争があった | 1981 | 松竹・ブンコープ ロダクション | 斎藤貞朗 | 父がアメリカの対日放送をしているために土蔵に隠された国際婚児童。 |
| 大日本帝国 | 1982 | 東映 | 舛田利雄 | 1936年から1945年までを指導者・兵士・庶民から描く。 |
| 戦場の メリークリスマス | 1983 | 英/大島渚プロ /テレビ朝日 | 大島 渚 | ジャワ山中の捕虜収容所で出会った男たちの人間模様。 |
| 東京裁判 | 1983 | 講談社 | 小林正樹 | 50万フィートのフィルムを編集し、戦争・人間、そして東京裁判を見つめ直す。 |
| 瀬戸内少年野球団 | 1984 | YOUの会/ ヘラルド・エース | 篠田正浩 | 敗戦後。淡路島国民学校の元気な野球少年たち。 |
| 夢千代日記 | 1985 | 東映 | 浦山桐郎 | 温泉町に生きる芸者が自分の死期を知る。帰途、女性の自殺のある男と目撃する…。 |
| 海と毒薬 | 1986 | 製作委員会 | 熊井 啓 | 原作は遠藤周作。日米戦争末期の米軍捕虜にたいする生体解剖実験の実話。ベルリン映画祭銀熊賞受賞作。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|----------------|------|--------------------------|------|---|
| ゆきゆきて、神軍 | 1987 | 疾走プロ | 原 一男 | 兵士射殺事件は上官による処刑だった…。 |
| 敦煌 | 1988 | 映画委員会 | 佐藤純彌 | 11世紀中国の西夏。繰り返される侵略の中で砂漠に生きる人々。 |
| 火垂るの墓 | 1988 | 新潮社 | 高畑 勲 | 野坂昭如原作のアニメ。神戸空襲で母と家を失ない、焼け跡に放り出された兄妹の末路。 |
| 戦場の女たち | 1989 | シグロ | 関口典子 | 戦火のパプア・ニューギニアの女性たちの証言。 |
| 少年時代 | 1990 | 実行委員会 | 篠田正浩 | 藤子不二雄原作。縁故疎開した少年の体験は…。子どもの世界に見た軍国日本の縮図。 |
| 戦争と青春 | 1991 | こぶしプロダクションほか | 今井 正 | 東京大空襲を背景に、戦争に翻弄される女性。 |
| ベトナムの ダーちゃん | 1993 | テレビ朝日/日本電波ニュース社/こぶしプロ | 後藤俊夫 | 早乙女勝元原作。目の前で母を殺された少女のさすらいの旅。 |
| つるにのって | 1993 | 世界の子どもに平和のアニメを贈るピースアニメの会 | 有原誠治 | 広島市の平和公園でサダコにあった少女は…。世界65カ国以上で上映された。 |
| 南の島に雪が降る | 1995 | 田崎真珠/リバース | 水島 総 | 俳優・加東大介の戦争体験。兵士は何故ニューギニアのジャングルに残ったか。 |
| 豚の報い | 1999 | サンセントシネマワークス | 崔 洋一 | 芥川賞受賞者・又吉栄喜原作。戦争の悲惨を訴える。 |
| ホテル | 2001 | 製作委員会(東映ほか) | 降旗康男 | 生き残った特攻隊員の夫婦。特攻隊の母と朝鮮人特攻隊員の約束。 |
| 美しい夏キリシマ | 2003 | キリシマ1945 | 黒木和雄 | 1945年8月。国の為にならなければならないのか。 |
| 紙屋悦子の青春 | 2006 | バンダイビジュアルほか | 黒木和男 | 神風特攻隊の飛行士は、学徒仲間の男を連れて、相思の女性と見合いさせる。 |
| 花はどこへいった | 2007 | シグロ | 坂田雅子 | 今だに何の補償もなく苦しむベトナムの枯葉剤被害者。ドキュメンタリー映画。 |
| オレの心は 負けてない | 2007 | 在日の慰安婦裁判を支える会 | 安 海龍 | 朝鮮人・宗神道さんは騙されて中国の慰安所に連れて行かれた…。深いこころの傷と裁判。 |

| | | | | |
|----------|------|------|------|--|
| 嗚呼 満蒙開拓団 | 2008 | 自由工房 | 羽田澄子 | 中国東北部の黒竜江省方正に建てられた日本人公墓。国策によって送り出された日本人農民は、日本軍が早々と去った地に取り残された。 |
|----------|------|------|------|--|

11. 原爆

| | | | | |
|--------------------------|------|--------------|----------------|---|
| 長崎の鐘 | 1950 | 松竹 | 大庭秀雄 | 永井隆博士の手記をもとにつくられた。原爆報道が抑えられていた時代、はじめての原爆をテーマとした作品。 |
| 原爆の子 | 1952 | 近代映画協会 ほか | 新藤兼人 | 原爆を正面からとらえた劇映画。 |
| 長崎の歌は忘れじ | 1952 | 大映 | 田坂具隆 | ヒロシマで被爆した監督による長崎を舞台にした作品。 |
| ゴジラ | 1954 | 東宝 | 本多猪四郎 ・円谷英二 | 相次ぐ水爆実験で永い眠りからさめたゴジラ。放射能をまきちらしながら東京を焦土にしている。 |
| 第五福竜丸 | 1959 | 近代映画協会 ほか | 新藤兼人 | 1954年3月1日、ビキニ環礁でアメリカの水爆実験が予告なく行われた。暗闇の中で恐ろしい火柱が立ち上り、死の灰が降り注ぐ。その後の漁師たちにおこったことは…。 |
| 愛と死の記録 | 1966 | 日活 | 蔵原惟繕 | 被爆者の恋人は原爆症で死んでしまう。 |
| はだしのゲン | 1976 | 現代ぷろだくしょん | 山田典吾 | ヒロシマ原爆前後を通して力一杯いきるゲン。 |
| ピカドン | 1978 | スタジオロータス | 木下蓮三 | 原爆の実相。10分のセリフのない短編アニメ。 |
| 生きてるうちが花なのよ 死んだらそれまでよ党宣言 | 1983 | キノシタ映画 | 森崎 東 | 原発作業中に被爆した青年は、事故隠しのために命を狙われる…。 |
| この子を残して | 1983 | 松竹 | 山下恵介 | 永井隆博士の同名のベストセラーの映画化。長崎の被爆後を生きる父子。 |
| せんせい | 1983 | 映像企画 | 大澤 豊 | 原爆投下後間もなく長崎で被爆した女性教師と子どもたち。32歳で原爆症でなくなった短い一生。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|------------------------------|------|--------------------|-------|---|
| TOMORROW 明日 | 1988 | ライトヴィジョン ほか | 黒木和雄 | 井上光晴原作。長崎被爆前の人々の生活。一瞬にして寸断された人生群像。 |
| 夏服の少女たち～ 広島・ 昭和20年8月6日 | 1988 | NHK | | 広島第一高女220人が被爆死した。手縫いの夏服に託した少女たちの青春と心。 |
| 千羽づる | 1989 | 共同映画全国系 列会議等 | 神山征二郎 | 2歳の時、爆心地から2 ^{キロ} で被爆したが、かすり傷ひとつ負わなかった少女は、小学校卒業間近の時、原爆症の診断を受けた。千羽鶴を折れば病気がなおると聞き、…。実話に基づく。 |
| ナー ज्याの村 | 1997 | ベラルーシ/ BOX東中野等 | 本橋成一 | 1986年にベラルーシで起こったチェルノブイリ原発事故。故郷に住み続ける人々を追ったドキュメンタリー。 |
| アレクセイと泉 | 2001 | ベラルーシ/ サスナフィルム | 本橋成一 | 「ナー ज्याの村」の続編。55人の高年者と一人の青年だけが住む、チェルノブイリ原発から180キロ離れた小さな村がある。本当の豊かさとは何か。 |
| 父と暮らせば | 2004 | 衛星劇場/ バンダイビジュアル | 黒木和雄 | 井上ひさし原作。ヒロシマの原爆で死んだ父と暮らす娘。自分だけが幸せになって良いのかと悩む。 |

12. 人間

| | | | | |
|---------------|------|-----|-------|--|
| 生れては みたけれど | 1932 | 松竹 | 小津安二郎 | 餓鬼大将の子どもと卑屈なその父親。 |
| 有りがたうさん | 1936 | 松竹 | 清水 宏 | 気のいいバス運転手。戦前の伊豆下田街道。乗り降りする人々との交流。 |
| 長屋紳士録 | 1947 | 松竹 | 小津安二郎 | 敗戦直後、迷い子を長屋に連れてきた。はじめは迷惑がるが次第に情が移っていく。 |
| 晩春 | 1949 | 松竹 | 小津安二郎 | 父を思い、結婚をためらう娘。父は近く再婚すると嘘をつく。 |
| 生きる | 1952 | 東宝 | 黒澤 明 | 模範的な役人が、自分の命が癌で余命幾ばくもないと知って…。 |
| おかあさん | 1952 | 新東宝 | 成瀬巳喜男 | 父の病死後、母子の生活は…。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|----------------|------|------------------|-------|--|
| 東京物語 | 1953 | 松竹 | 小津安二郎 | 年老いた老夫婦が子どもを頼って東京に出てくるが…。家族の崩壊を描いた名作。 |
| 雨情 | 1957 | 東京映画 | 久松静児 | 野口雨情物語。森繁久弥主演。名曲「船頭小唄」誕生物語。古い社会の重圧が男女を引き裂いていく。 |
| 喜びも悲しみも 幾歳月 | 1957 | 松竹 | 木下恵介 | 戦争前夜と戦中を生きぬく、灯台守夫婦の25年。1986年にも新版が同じ監督で製作されている。 |
| 裸の大将 | 1958 | 現代おろだくしょん | 堀川弘通 | 放浪画家・山下清の『放浪日記』の映画化。戦争が恐くて兵隊検査を逃れようと施設を脱走し、放浪の旅にでる。旅先でのほのほのとした清と人々との交流。1981年には「裸の大将放浪記—山下清物語」（現代プロダクション・山田典吾監督）が続いている。 |
| 浪花の恋の物語 | 1959 | 東映 | 内田吐夢 | 近松の『冥途の飛脚』の映画化。遊女を愛する余り、大金を使い込んだ男の逃避行。 |
| おとうと | 1960 | 大映 | 市川崑 | 幸田文原作。後添いの母に親しめず、くれる弟とかばう姉。1976年にも同名の映画（山根成之監督）がある。 |
| 親鸞・続親鸞 | 1960 | 東映 | 田坂具隆 | 吉川英治の原作。親鸞の新しい宗教を切り拓く苦悩。 |
| 裸の島 | 1960 | 近代映画協会 | 新藤兼人 | 瀬戸内の小島で自然と格闘しながら生きる夫婦。 |
| 釈迦 | 1961 | 大映 | 三隅研次 | 仏陀の生涯を描いた超大作。 |
| 人間 | 1962 | 近代映画協会 | 新藤兼人 | 食糧尽きた難破船でおきる乗組員たちの極限状況。 |
| 怪談 | 1964 | 文芸プロ/ にんじんくらぶ | 小林正樹 | ラフカディオ・ハーンの原作。「耳なし芳一」「雪女」など心にしみる短編集。 |
| 飢餓海峡 | 1965 | 東映 | 内田吐夢 | 青函連絡船を襲った台風による転覆事故。しかしなぜか乗客名簿より死体が多い。謎の殺人事件を追う刑事。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|--|------|-----------------------------|-------|---|
| 男はつらいよ (全作品) | 1969 | 松竹 | 山田洋次 | 父がなくなって叔父夫婦に育てられた兄妹。テキ屋になた兄は風来坊。このシリーズは1996年に渥美清が亡くなるまで続き、世界記録の長寿シリーズとなり48作にのぼった。 |
| どですかでん | 1970 | 四騎の会 | 黒澤 明 | 山本周五郎の『季節のない街』の映画化。大の電車好きの少年を取り巻く人々の話。 |
| 忍ぶ川 | 1972 | 俳優座 | 熊井 啓 | 自分は幸福になれないと思う青年が、ついに愛を得た。 |
| ドキュメンタリー・ インドの星 マザー・テレサと その世界 | 1978 | 近代映画協会/ 女子パウロ会 | 千葉茂樹 | インドのコルカタ(カルカッタ)のスラム街で活動するマザーを追う。 |
| ふるさと | 1983 | こぶしプロ | 神山征二郎 | ダムの底になる山村で生きる、認知症になっているお祖父さん。孫が山に連れていくと…。 |
| 親鸞・白い道 | 1987 | 松竹/日映/ キネマ東京 | 三國連太郎 | 都を追われ流罪となった親鸞…。 |
| 利休 | 1989 | 勅使河原プロ/松竹/ 伊藤忠商事/ 博報堂 | 勅使河原宏 | 茶道に邁進する利休と、権力の権化となった秀吉の葛藤。 |
| 望郷 | 1993 | 斎藤耕一プロ | 斎藤耕一 | 日米戦争の勃発の最中、母や姉に会いたい一心で放浪の旅に出る少女。 |
| 深い河 | 1995 | 製作委員会 | 熊井 啓 | 虚しさを埋めるためにインド・ツアーに参加した女性は…。 |
| 宮澤賢治 —その愛— | 1996 | 松竹/三井物産 | 神山征二郎 | 人々の幸せを一心に願った賢治の苦悩。 |
| わが心の銀河鉄道 宮沢賢治物語 | 1996 | 製作委員会 | 大森一樹 | 賢治の童話を取り入れた、賢治の生涯。 |
| HANA-BI | 1997 | バンダイビジュアル/ オフィス北野 | 北野 武 | 子どもを亡くしたことから失語症になった妻。事件で同僚を傷つけ死なせてしまった元刑事の夫。 |
| ゼノ・ かぎりなき愛に | 1999 | ゼノさんの映画を つくる会 | 宇井孝司 | 長崎で原爆に遭遇しながらも、食べ物や衣類を子どもの届け歩き、修道院を開放したゼノさん。 |
| 元始、女性は太陽 であった・平塚ら いてうの生涯 | 2001 | 青木生子 | 羽田澄子 | 日本初の女性による女性の雑誌“青鞥”を創刊し、女性解放運動にその生涯を捧げた女性の一生。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|---------|------|-------|------|-------------------------------------|
| 阿弥陀堂だより | 2002 | 製作委員会 | 小泉堯史 | 信州の山村で心を病んだ妻が、自然と村人との交わりの中で、和らいで行く。 |
|---------|------|-------|------|-------------------------------------|

13. その他

| | | | | |
|---------------|------|---------------|-------|--|
| 若い人 | 1937 | 東京発声 | 豊田四郎 | 昭和初期といわれる時代、「自由主義、博愛主義」のミッションスクールでの美男の先生をめぐる女教師や生徒。原作者の石坂洋次郎は不敬罪、軍人誣告罪に問われる。1952年、1962年、1977年にも再映画化。 |
| 王将 | 1948 | 大映 | 伊藤大輔 | 大阪・天王寺の貧しい街に住む草履職人は後に将棋の関西名人となる。62年にも同名の作品が製作されている。 |
| 青い山脈 | 1949 | 東宝 / 藤本プロ | 今井 正 | 転校生をからかっのラブレター。転校生に味方する生徒が立ち上がる。それが町の民主化までに広がって行く。 |
| 暴力の街 | 1950 | 日本映画演劇労働組合 | 山本薩夫 | 暴力と金で町を支配するボスと新聞記者と市民。 |
| 夜明け前 | 1953 | 近代映画協会 / 劇団民芸 | 吉村公三郎 | 幕末に生きる木曾の山中の庄屋の生涯。 |
| 赤城の子守唄 | 1957 | 松竹 | 芦原 正 | 天保期、農民の窮乏を見かねた国定忠治は代官所を襲う…。 |
| 伴淳・森繁の 糞尿譚 | 1957 | 松竹 | 野村芳太郎 | 社会の醜い欲望に巻き込まれていく男の悲哀。 |
| 東海道四谷怪談 | 1959 | 新東宝 | 中川信夫 | 養子縁組で仕官の道が開かれると浪人は妻が邪魔になる…。 |
| 武器なき戦い | 1960 | 大東映画 | 山本薩夫 | 言論弾圧と戦い、右翼のテロで命を奪われた山本宣治。 |
| 赤ひげ | 1965 | 東宝 / 黒澤プロ | 黒澤 明 | 江戸幕府が設置した養生所での医師と患者の交流。 ヴェネチア映画祭男優賞受賞。 |
| ブワナ・トシの歌 | 1965 | 東京映画 / 昭和映画 | 羽仁 進 | 渥美清がアフリカ奥地の村に行き、家を建てる。いかに心を合わせたか。 |
| 白い巨塔 | 1966 | 大映 | 山本薩夫 | 大学医学部内部の権力闘争。モスクワ映画祭銀賞受賞。 |

日本映画人権関連小一覧

| | | | | |
|---------------|------|--------------|-------|---|
| 神々の深き欲望 | 1968 | 今村プロ | 今村昌平 | 神話に生きる日本の南島に押し寄せる近代化の波。人々は昔ながらの生活を破壊されていく。 |
| 地獄変 | 1969 | 東宝 | 豊田四郎 | 原作は芥川龍之介の同名小説。貴族と絵師の葛藤。 |
| 水保－患者さんとその世界－ | 1971 | 東プロ | 土本典昭 | 患者の闘病生活、裁判に長期密着取材をして作成した告発記録。第1回世界環境映画祭グランプリ受賞。 |
| 忍ぶ川 | 1972 | 俳優座 | 熊井 啓 | 三浦哲郎の同名小説の映画化。若い二人は互いの過去を話しあい、未来も話していく。 |
| 戦争を知らない子供たち | 1973 | 東宝 | 松本正志 | 白け時代を生きる高校生が停学処分反対デモを起こすが…。 |
| 不毛地帯 | 1976 | 芸苑社 | 山本薩夫 | 次期戦闘機をめぐる商社間の闘いと政界の醜悪。 |
| アラスカ物語 | 1977 | 東京映画 | 堀川弘道 | アラスカに住む先住民族のために献身的に働く日本人がいた。 |
| 青春の門 自立篇 | 1977 | 東宝 | 浦山桐郎 | 筑豊の炭坑の町をあとに早稲田大学に進んだ青年の青春。同名の作品(蔵原惟繕監督)が1982年にも製作されている。 |
| キタキツネ物語 | 1978 | サンリオ・フィルム | 蔵原惟繕 | 北海道の厳しい自然の中で生きるキタキツネ一家。 |
| 曽根崎心中 | 1978 | 行動社/木村プロ/ATG | 増村保造 | 原作は近松門左衛門。愛を貫くために心中する手代と遊女。 |
| 火の鳥 | 1978 | 東宝/火の鳥プロ | 市川 崑 | ヤマタイ国で繰り広げられる人間の真実の姿。 |
| 龍の子太郎 | 1979 | 東宝 | 浦山桐郎 | 自分の貧しい村に湖の水を流したいと願う少年は…。 |
| おこんじょうり | 1982 | 桜映画社/エコー | 岡本忠成 | 人形アニメ。元まじない師のおばあさん。忍び込んだ狐は恩返しにじょうりを喰る。それはどんな病気でも治すのだ。 |
| 飛鳥へ そしてまだ見ぬ子へ | 1982 | 東宝企画 | 木下 亮 | 癌で死ぬ運命にある医師が、妻子にあてた遺稿集の映画化。 |
| 遠野物語 | 1982 | IBC岩手放送ほか | 村野鐵太郎 | 柳田國男の同名原作に基づくフィクション。 |

日本映画人権関連小一覧

| | | | | |
|-------------------|------|-------------------|-------------|---|
| 南極物語 | 1983 | フジテレビ・ 学習研究社ほか | 蔵原惟繕 | 1958年、やむを得ない理由によって南極にのこされた15頭のカラフト犬。生き残ったのは2頭だった。 |
| 風の谷のナウシカ | 1984 | スタジオジブリ ほか | 宮崎 駿 | 戦争と文明によって崩壊し汚染された地球と人類の1000年後。 |
| 地平線 | 1984 | MARUGEN | 新藤兼人 | 監督の姉の半生を描いたもの。1920年、日本人の娘が写真一枚の見合いでアメリカ西海岸に嫁いでいく。日米戦争をはさんで激動の時代を生き抜く。 |
| 子象物語・ 地上に降りた天使 | 1986 | ビックウエスト・ 東宝映画 | 木下 亮 | アジア太平洋戦争の末期、政府の出した動物園非常事態宣言によって、動物たちが次々と命を奪われた。子象をめぐる人々の愛情と努力。 |
| 子猫物語 | 1986 | フジテレビジョン | 畑 正憲 | 親からはぐれた子猫。北海道の大自然の中で、小犬の力を得て大きくなっていく。 |
| となりのトトロ | 1988 | スタジオジブリ ほか | 宮崎 駿 | 高度成長時代前の農村の日本。ふたりの姉妹が、言葉を発さないもののけのトトロと出会い、交流していく。 |
| 善人の条件 | 1989 | 松竹 | ジェームス 三木 | 清潔選挙を目指した大学教授だが、毒されていく…。 |
| 魔法の宅急便 | 1989 | スタジオジブリ ほか | 宮崎 駿 | キキはほうきに乗って飛べる。魔法の力を活かして、宅急便屋を始めた。 |
| タスマニア物語 | 1990 | フジテレビジョン | 降旗康男 | 父はなんと会社を辞めて自然保護運動をしていた。タスマニアの大自然のなかの日本人父子。 |
| 阿賀に生きる | 1992 | 製作委員会 | 佐藤 真 | 阿賀野川水銀中毒問題を追ったドキュメンタリー。 |
| 平成狸合戦 ぼんぼこ | 1994 | 徳間書店など | 高畑 勲 | 宅地開発で奪われる狸たちの別天地。狸たちが開発阻止に向かう。 |
| さくら | 1994 | 製作委員会・ クレストほか | 神山征二郎 | その国鉄バスの車掌の夢は太平洋と日本海（名古屋から金沢）を桜で結ぶ壮大なものだった。 |

日本映画人権関連小一覽

| | | | | |
|--------------------------|------|---------------|-------|---|
| アンネの日記 | 1995 | 製作委員会 | 永丘昭典 | 『アンネの日記』の世界初のアニメ化。ナチスの支配下、屋根裏に潜んで暮らすアンネ一家の運命と少女の希望。 |
| 渚のシンドバッド | 1995 | 東宝 | 橋口亮輔 | 同性愛者の高校生は、思いを相手に伝える決意をする。 |
| もののけ姫 | 1997 | スタジオジブリ ほか | 宮崎 駿 | 室町時代、タタリ神の呪いを絶つために西方へむかうアシタカ。自然を破壊する人間と自然の神々との闘い。被差別民衆の武士・貴族との闘い。この映画が描いたハンセン病者は。 |
| ハッシュ！ | 2001 | シグロ | 橋口亮輔 | ゲイ同士があかちゃんをほしがる…。同性愛者への差別の中で。 |
| 恋は五・七・五 | 2004 | 東北新社ほか | 荻上直子 | しょぼくれた高校生が全国高校俳句甲子園に出場し、形式にこだわった名門校を超えていく。 |
| 誰も知らない | 2004 | 製作委員会 | 是枝裕和 | 母親が5人の子を残して行ってしまった。兄を中心に助け合って生きた実話。 |
| メゾン・ド・ヒミコ | 2005 | アスミックエース | 犬童一心 | ゲイのための老人ホームの主は、母と子どもを捨てていった父親…。 |
| 実録・連合赤軍 あさま山荘への 道程 | 2007 | 若松プロ | 若松孝二 | 1972年に起きた凄惨な同志殺戮事件はなぜ起きたのか。仲間を地獄へ突き落としていったものとは。 |
| 東京ソナタ | 2008 | 製作委員会 | 黒沢 清 | 大企業の管理職をリストラされた夫。妻・二人の子どももそれぞれの秘密を持っている。現代家族模様。 |
| ブタがいた教室 | 2008 | 日活 | 前田 哲 | 最後に食べるという約束でクラスでブタを飼い始めた。子どもたちは話し合いながら、命の重さを知っていく。 |
| おくりびと | 2008 | 製作委員会 | 滝田洋二郎 | 楽団が解散となって納棺師となるが、友人も妻もその職業を諍る。人生の最後を看取る仕事をやめない。2009年度アカデミー賞受賞。 |